

市長との約束 2018



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

産業経済部長

後藤 壽

約束内容	第2次産業振興計画の推進と世界農業遺産認定の取り組み
達成目標	①第2次産業振興計画の目標である「連携・醸成・発信 次世代へつなぐ産業の創造」実現のため、農商工連携、6次産業化の推進などの事業を着実に推進します。 ②東北・北海道初「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的な水管理システム」の世界農業遺産認定を受け、農業システムを生かした地域振興策を含むアクションプランを関係団体と連携し進めます。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	第2次大崎市産業振興計画の基本目標である「連携・醸成・発信 次世代へつなぐ産業の創造」の実現に向け、世界農業遺産認定を推進力として、市民が将来に不安なく安心して暮らせる、または働くことができる持続可能な産業の確立に努めました。
今後の課題解決策	世界農業遺産推進課が発足して1年が経過し、平成31年度はアクションプラン推進会議で検討してきた世界農業遺産の保全と活用策を実践に移行する「アクションプラン実践元年」と位置づけ、農産物のブランド認証制度として、まずは「米」の認証と、教育委員会と連携しながら次世代の人材育成に向け、副読本の作成を行います。 道の駅おおさきの平成31年7月オープンに向け、関係団体等と管理運営体制づくりを行います。

約束内容	持続可能な農林畜産業の振興
達成目標	新たな米政策への対応と攻めの農業を推進し、さらには地方創生総合戦略に掲げる本市独自の「新規就農チャレンジ支援事業」等を実施しながら、地域農業の担い手の育成強化や畜産農家の支援など、農林畜産業などの振興を図ります。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	平成30年産米から従来の生産調整が廃止され、本市の基幹産業である農業を持続発展できるよう市内JA初め、関係機関と連携しながら需要に応じた生産に取り組みました。 次世代の担い手確保及び育成に向けた取り組みとしては、受け入れ態勢の構築、認定新規就農者制度や本市独自の就農チャレンジ支援事業など、積極的な活用を努めました。
今後の課題解決策	新たな米政策も2年目を迎えますが、市内JAと連携を図りながら、需要に応じた生産を推進していく必要があります。 デビュー5年目となる「ささ結」について、平成31年度もみやぎ大崎「ささ王」コンテストの開催を初め、国内外へブランド力の向上や消費拡大を推進します。

約束内容	商工振興の推進
達成目標	<p>①商工団体と連携し、「プレミアム商品券発行事業」を実施するとともに、「創業・開業支援空き店舗補助事業」や「店舗リニューアル支援事業」等により、商店街の活性化を図り、市内全体の経済活性化につなげます。</p> <p>②中小企業の安定経営に向け、関係機関の協力を得ながら、事業に必要な資金融資のあっせんや信用保証料の補給を円滑に行います。</p> <p>③新たな工業団地の整備等により、企業誘致や雇用の拡大を進め、若者を初めとした地域の雇用対策を進めます。</p>
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	<p>市内企業の振興策の一つとして、「中小企業及び小規模企業振興基本条例」を制定し、支援体制の構築を図りました。</p>
今後の課題解決策	<p>平成31年10月に予定されている消費税率改定に向け、個人消費の喚起と市内商店街の活性化策として「プレミアム商品券発行事業」を実施します。</p>

約束内容	観光振興の推進
達成目標	<p>①観光振興ビジョンをもとに、地域全体のおもてなし力に磨きをかけ、みやぎ大崎観光公社と連携した着地型観光の推進や、昨年度に引き続き官民が一体となったオール大崎での「トランススイート四季島」の受け入れを実施します。</p> <p>②県内第3の「宮城オルレ」認定に向けた取り組みを行い、本市の知名度向上と観光分野の振興、地域が一体となった交流人口の拡大を図ります。</p>
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆☆
達成状況	<p>観光振興ビジョンのもと、首都圏における物産展示会の開催や世界農業遺産資源を活用した体験ツアー（大人の遠足）を実施し、危機感を持った「おもてなし力の強化」に努めました。</p>
今後の課題解決策	<p>市内の多様な地域資源を活用したツーリズムの推進による交流人口の拡大に向け、体験ツアーの受入れ態勢の整備や仙台空港から鳴子温泉地域の宿を結ぶ二次交通の実証実験を行います。</p> <p>また、石巻港大型客船受入れにおける市内へのツアー催行や宮城オルレコースの認定に向けた取り組みを強化し、訪れたい観光の振興に努めます。</p>